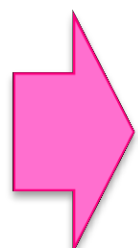


海洋観光の振興に関する検討会 からの報告

首都大学東京 特任准教授
矢ヶ崎 紀子

検討会の開催趣旨

- * 広大な管轄海域を有する海洋国家
→ 観光立国推進に大きな役割
- * 観光振興の観点から横断的に取り組む
→ 海洋の魅力や可能性を発信し、
海洋関連施策を総合的に推進



観光の力を海洋政策に活用

観光の力とは？

海洋を

理解する

体験を通じて
身近なものへ

好きになる

交流を通じて
愛着のあるものへ

他の資源とつなぐ

雇用を生む
産業へ

すそ野が広い観光

2011年 旅行消費額 22.4兆円

日本人海外旅行
(国内分)

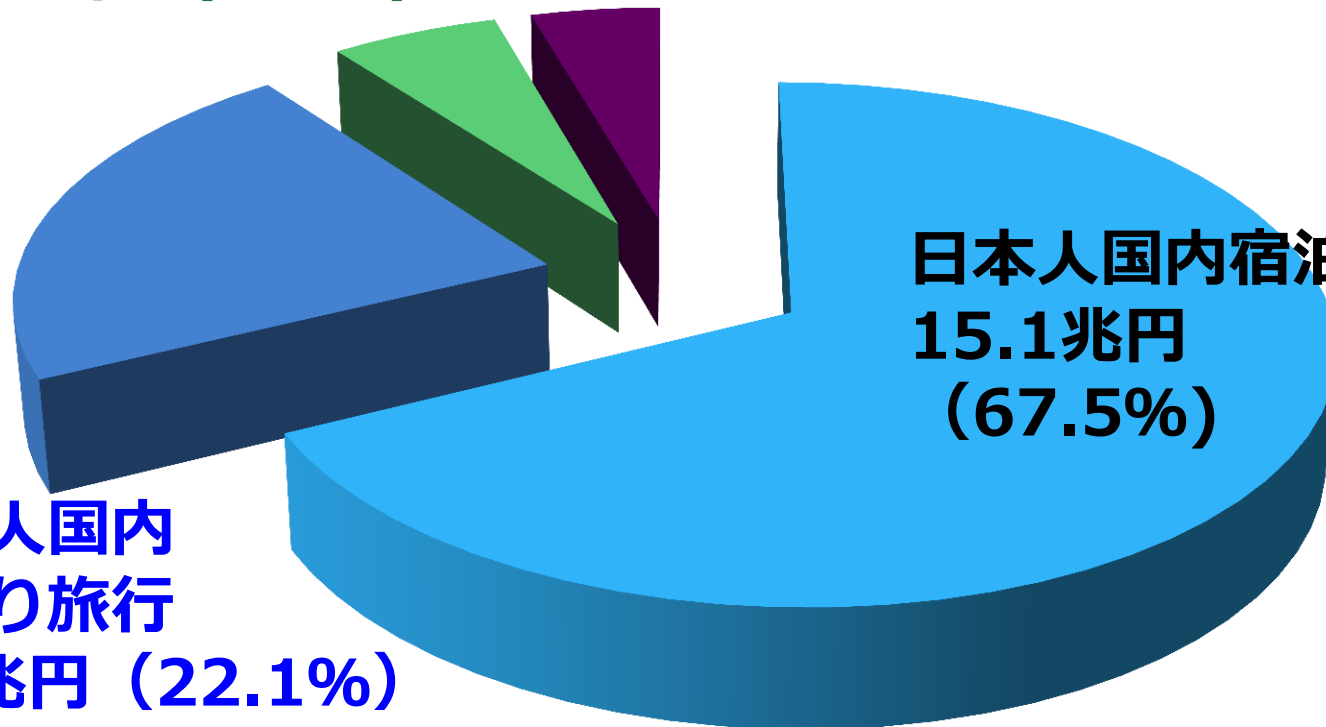
1.3兆円 (5.9%)

訪日外国人旅行 1兆円 (4.5%)

日本人国内宿泊旅行
15.1兆円
(67.5%)

日本人国内
日帰り旅行

4.9兆円 (22.1%)



観光消費額(TSA)世界ランキング

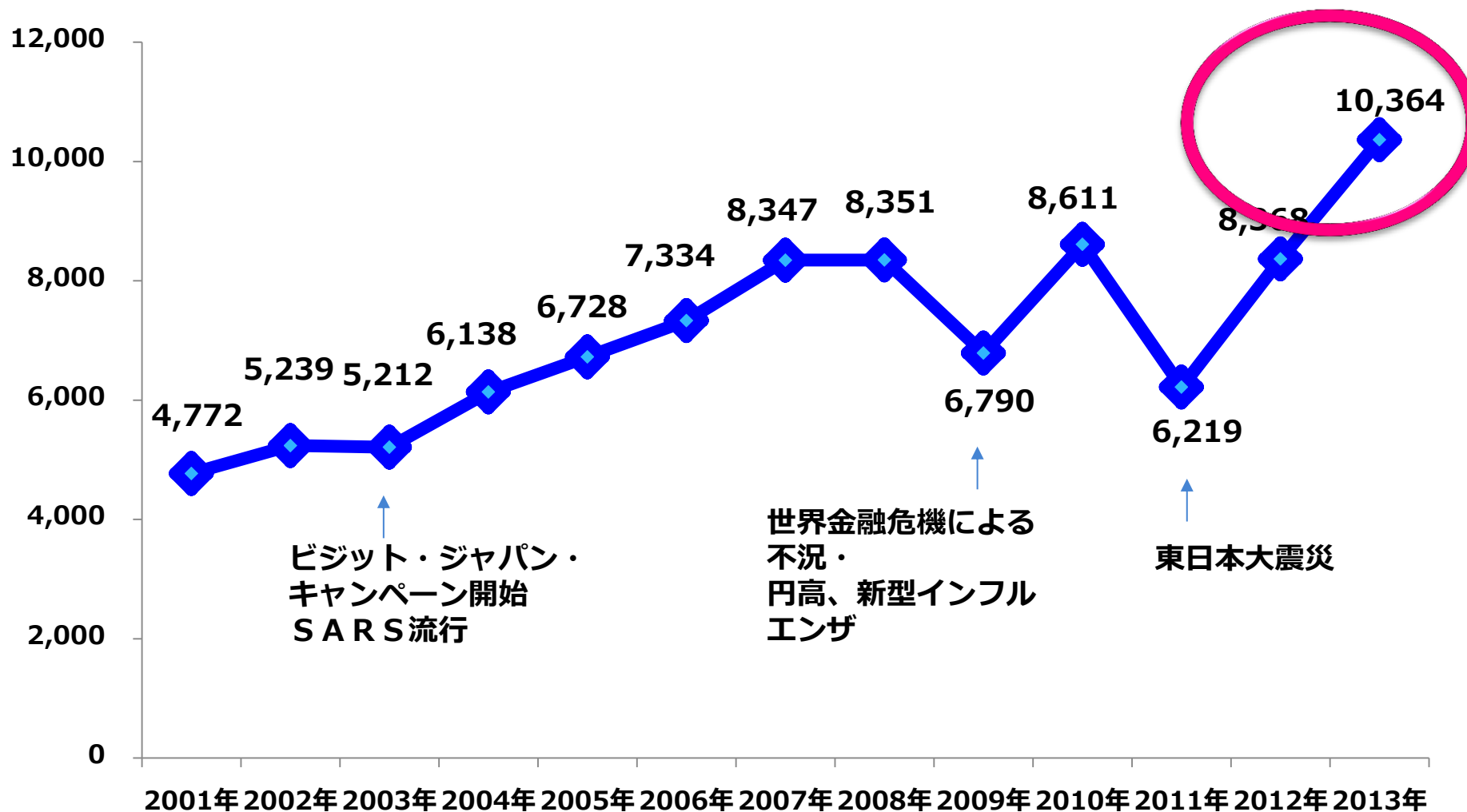
順位	国名	観光消費額	観光GDP比
第1位	米国 (2010年)	56.3兆円	2.7%
第2位	ドイツ (2010年)	30.9兆円	4.4%
第3位	日本 (2011年)	22.4兆円	1.8%
第4位	フランス (2010年)	15.3兆円	3.7%
第5位	英国 (2009年)	14.5兆円	3.6%

資料：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」（2013年3月）

22.4兆円→經濟波及効果

生産波及効果	46.4兆円	対国民經濟計算産出額 5.1%
付加価値誘発効果	23.7兆円	対名目GDP 5.0%
雇用誘発効果	397万人	対全国就業者数 6.2%
税収効果	4.0兆円	対国税+地方税 5.1%

成長分野のインバウンド



海洋観光の振興に向けての 中間とりまとめ（案）

海洋観光の定義

海洋に関わる観光資源

自然状況

海上交通

を利用・活用する観光

→ 海洋観光を網羅的に推進

海洋観光の主な魅力

- * 自然景観
多様で豊かな自然、美しい沿岸域の地形・街並、海からの景観、港の風景、美しい海中、海の生物等
- * 乗船体験
クルーズ、フェリー・旅客船、遊覧船等
- * 海的生活文化、離島の歴史・文化・伝統
- * 教育の場（体験学習等）

海 = 非日常を、観光として活用

海洋観光の施策体系

経済の
活性化

国・地域のブランド力・
競争力の強化

地域振興

海洋の
管理

わが国海洋の適切な管理

わが国海洋の周知・啓発

海洋観光の振興による 経済の活性化

国・地域のブランド力・競争力の強化

クルーズ船発着・寄港による地域の魅力発信
魅力ある観光地づくり
船舶の技術力強化

地域振興

交流人口増、雇用の創出
海洋観光産業の人材育成

海洋観光の振興における 海洋の管理

わが国海洋の適切な管理

観光振興に資する沿岸域の適切な管理
観光と連携した大規模災害時の船舶の活用
航行の安全

わが国海洋の周知・啓発

海洋体験を通じて海洋管理の必要性を認知
関係者の連携促進、機運の醸成
海洋に関する教育の充実

今後の主な政策課題

1. 海洋観光の魅力の発掘・磨き上げ
2. 魅力の情報発信手法の向上
3. 産業創出・振興
4. 離島振興
5. わが国海洋に関する周知・啓発
6. 海洋観光に係る人材の育成
7. 関係者の連携

最後に・・・

観光とは、

国の「光」を観ること
海洋国家であることは
重要な国の「光」

ご清聴ありがとうございました。